



(ル・ピラ)1935年、ボルドー美術館 © Mairie de Bordeaux, Musée des Beaux-Arts, photo, F. Deval

生誕150周年

アルベール・マルケ展

水辺を愛した画家

Albert Marquet: A Retrospective

2026年8月8日[土] → 9月13日[日] [開館時間] 9:30—17:00(入館は16:30まで)
[休館日] 毎週月曜日 *会期中、一部の作品の展示替えを行います。

[主催] 三重県立美術館、中日新聞社、共同通信社 [特別協力] ボルドー美術館 [後援] 在日フランス大使館／アンスティチュ・フランス
[協賛] DNP大日本印刷 [協力] 日本航空、ヤマト運輸 [助成] 公益財団法人岡田文化財団、公益財団法人三重県立美術館協会

三重県立美術館
MIE PREFECTURAL ART MUSEUM



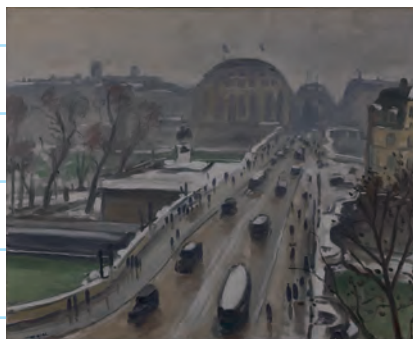
Albert Marquet: A Retrospective

フランス近代美術の 巨匠の全貌に迫る!!

20世紀フランス絵画の巨匠アルベール・マルケ(1875-1947)の生誕150周年を記念する展覧会を開催します。日本国内では35年ぶりの回顧展となります。

フランス南西部の港湾都市ボルドーに生まれたマルケは、パリでアンリ・マティスらと出会いました。彼らは画家仲間たちとともに強烈な色彩と自由な筆触によるフォーヴィスム(野獣派)と呼ばれる作風を展開します。しかし、マルケは観察にもとづいて描く態度を崩すことはなく、やがてニュアンスに富んだ中間色による穏やかな作風へと変わっていきました。マルケが好んで手がけたのは、パリの街とセーヌ河の光景、そして旅先の地中海沿岸地域で出会った港や浜辺の光景です。窓から眺めた大胆な構図で魅力的な風景画を数多く手がけました。

本展は、フランスおよび国内の美術館、ギャラリー、個人コレクターが所蔵する油彩、パステル、デッサンなど約100点から構成されます。これらの作品を通してマルケの画家としての形成期をたどり、その独自の作風がどのように確立されていったのかを明らかにするとともに、いくつかのモチーフやテーマ、とりわけ水辺の情景に焦点を当てます。繊細で洗練された色彩表現が生み出す光や空気感の違いが織りなすマルケ作品特有の魅力をご堪能ください。



会期中のイベント

* 手話通訳・要約筆記、その他支援をご希望の方は、2週間前までにご相談ください。

▶ 記念講演会

「フォーヴィスムのなかのマルケ」

講師：桑名真吾氏 (SOMPO美術館学芸員)

日時：8月22日[土] 14:00 - (90分程度)

会場：三重県立美術館 地下1階講堂

定員：140名

参加費無料、当日先着順

(直接講堂にお越しください。13:30に開場します。)

▶ 担当学芸員によるスライドトーク

本展の見どころをご紹介します。

日時：8月15日[土]、9月6日[日] 14:00 - (30分程度)

会場：三重県立美術館 地下1階講堂

定員：140名

参加費無料、当日先着順

(直接講堂にお越しください。13:30に開場します。)

▶ ギャラリートーク

当館館長が展示室内で作品の解説をします。

日時：8月11日[火・祝]、8月30日[日] 14:00 - (30分程度)

会場：三重県立美術館 企画展示室

展示室に入るためチケット(観覧券)が必要です。

展示室入り口にお集まりください。

1. 《裸婦、通称フォーブの裸婦》1898年、ボルドー美術館 © Mairie de Bordeaux, Musée des Beaux-Arts, photo, F. Deval
2. 《パリ、ルーヴル河岸》1906年、ヤマザキマザック美術館
3. 《マルセイユの馬》1916年、ボルドー美術館 © Mairie de Bordeaux, Musée des Beaux-Arts, photo, F. Deval
4. 《アルジェ港》1922年頃、パリ、個人蔵(協力:パリ、ギャルリイ・ド・ラ・プレジダンス)
5. 《バルコニー、または織機様の日よけ》1945年頃、パリ、個人蔵(協力:パリ、ギャルリイ・ド・ラ・プレジダンス)
6. 《ボン・ヌフとサマリテース》1940年、ひろしま美術館

【観覧料】一般1,200(1,000)円/学生1,000(800)円 高校生以下無料

()内は前売および20名以上の団体割引料金

・この料金で、「美術館のコレクション」、柳原義達記念館もご覧いただけます。

・柳原義達記念館は、8月18日[火] - 8月30日[日]は展示準備のため閉室します。

・生徒、学生の方は生徒手帳、学生証等をご提示ください。

・障害者手帳等(アプリ含む)をお持ちの方および付き添いの方1名は観覧無料。

・教育活動の一環として県内学校(幼・小・中・高・特支)および相当施設が来館する場合、引率者も観覧無料(要申請)。

・毎月第3日曜の「家庭の日」(8月16日)は団体割引料金でご覧いただけます。

・主な前売券販売所 チケットぴあ、ファミリーマート、セブン-イレブンなど

■ 同時期開催

Y² project 水野勝規

日時 2026年9月1日[火] - 12月27日[日]

会場 柳原義達記念館

■ 次回の企画展

ルーシー・リー展

一東西をつなぐ優美のうつわー

日時 2026年9月26日[土] - 12月13日[日]

会場 企画展示室

【交通案内】

津駅(近鉄・JR)西口より徒歩約10分。または、津駅西口1番のりばより三重交通バス「西団地循環」、「津西ハイタウン行き(むつみ・つつじ経由)」、「夢が丘団地行き(総合文化センター前経由)」、「総合文化センター行き」のいずれかに乗車約2分、「美術館前」下車徒歩約1分。駐車場もご用意していますが、できる限り公共交通機関をご利用ください。

三重県立美術館
MIE PREFECTURAL ART MUSEUM

〒514-0007 三重県津市大谷町11

TEL : 059-227-2100

FAX : 059-223-0570

https://www.bunka.pref.mie.lg.jp/art-museum/

Follow us on X @mie_kenbi

